

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	農業農村整備事業（経営体育成基盤整備事業）				
地区名	うまがんじ 馬ヶ地地区				
事業箇所	やとみ うまがんじ 弥富市馬ヶ地				
事業のあらまし	<p>本地区は、弥富市の北東部に位置するゼロメートル地帯の低平部にまたがる水田地帯であり、団体営ほ場整備事業十四山地区(1964～1966年)で整備された受益面積32.1haの区域である。地区内の排水路は組立柵渠等にて整備されているものの、施工後50年以上が経過し、ゲリラ豪雨や台風など、短時間に発生する大量降雨に対応できない状況である。また、破損や老朽化が進み、日々の維持管理に多大な労力を費している。</p> <p>このため、排水路の改修により、農業経営の合理化を図るとともに、担い手への当地の利用集積を図ることを目的として、2019年度から経営体育成基盤整備事業を実施しており、2027年度に完了する予定である。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】 排水施設の整備を行うことにより、農地の汎用化や維持管理費の節減を図り、担い手農家への農地利用集積を促進し、農業経営の改善・安定を図る。</p> <p>【副次目標】 なし</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2018年度)	再評価時 (2024年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2019～2023	2019～2027	地元調整に伴う事業期間の延長	
	事業費（億円）	4.7	8.9		
	経費内訳	工事費	4.0	7.7	労務資材費の増(2018年単価→2024年単価) 構造の変更による増
		用補費	0.1	0.1	
		その他	0.6	1.1	労務費の増(2018年単価→2024年単価)
事業内容	排水路工 5.6km	排水路工 5.6km			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】 近年、排水施設の機能低下が進み、短時間に起こる大量降雨に対応できない状況であり、施設の不等沈下及び老朽化による流水阻害、断面不足による排水不良などにより、日々の水管理に多大な労力を費やし、営農に支障をきたしている。</p> <p>こうした状況の中、農業生産性の向上を図り担い手への農地利用集積が図られるよう、排水施設の整備を早急に進める必要がある。</p> <p>【再評価時の状況】 未整備の区域では、排水路の改修が必要な状況が継続している。</p> <p>【変動要因の分析】 未整備の区域が効率的な営農の支障となっており、事業の必要性は依然として高い。</p>			

判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適切ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																																																																																																																					
	<p>【理由】</p> <p>施設の老朽化は改善されておらず、必要性は事業着手時と同等である。</p>																																																																																																																																						
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用水路工</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="9">4.7</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="9">4.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="9">4.0</td> <td>4.9</td> <td>8.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水路工(km)</td> <td>5.6</td> <td>2.5</td> <td>45%</td> <td>5.6</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>4.7</td> <td>4.0</td> <td>85%</td> <td>8.9</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>4.0</td> <td>3.4</td> <td>85%</td> <td>7.7</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.1</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>0.1</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>100%</td> <td>1.1</td> <td>55%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <p>排水路工 2.5 km</p>			2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	計	工種 区分	調査・設計	←								→		用地補償		←							→		工事		←							→		用水路工		←							→		事業費 (億円)	当初計画	4.7									4.7	実績	4.0									4.0	今回計画	4.0									4.9	8.9		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	排水路工(km)	5.6	2.5	45%	5.6	45%	事業費(億円)	4.7	4.0	85%	8.9	45%	工事費	4.0	3.4	85%	7.7	44%	用補費	0.1	0.0	0%	0.1	0%	その他	0.6	0.6	100%	1.1	55%
			2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	計																																																																																																																											
	工種 区分	調査・設計	←								→																																																																																																																												
		用地補償		←							→																																																																																																																												
工事			←							→																																																																																																																													
用水路工			←							→																																																																																																																													
事業費 (億円)	当初計画	4.7									4.7																																																																																																																												
	実績	4.0									4.0																																																																																																																												
	今回計画	4.0									4.9	8.9																																																																																																																											
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																			
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																																																		
排水路工(km)	5.6	2.5	45%	5.6	45%																																																																																																																																		
事業費(億円)	4.7	4.0	85%	8.9	45%																																																																																																																																		
工事費	4.0	3.4	85%	7.7	44%																																																																																																																																		
用補費	0.1	0.0	0%	0.1	0%																																																																																																																																		
その他	0.6	0.6	100%	1.1	55%																																																																																																																																		
2) 未着手又は長期化の理由	<p>工事実施にあたり、作止めの調整が必要となるが、地元調整の結果、当初予定していたよりも単年度あたりの工事範囲が狭い範囲に限られることとなったため。</p>																																																																																																																																						
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>なし。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>地元の合意形成が図られたことから、今後、予算確保に努めながら事業の進捗を図り、予定工期内の完了を目指す。</p>																																																																																																																																						
判定	B	<p>A： これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 																																																																																																																																					

		<p>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p> <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
<p>【理由】 事業期間を延長したことにより、計画通りの完成が見込まれるため。</p>		
<p>Ⅲ 対応方針</p>		
<p>継続</p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>	
<p>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理費 ・担い手への農地の利用面積・集積率 		